

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	04	194190	消防水利維持管理整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	消防水利の充実					
対象	市民					
意図	火災時に市民の生命・財産を守るため消防水利を整備する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○消火栓維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災等の災害時、支障なく活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施し、非常時に対応できるよう維持する。 <p>○消火栓・防火水槽水利施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災時の被災建物等の早期鎮圧、鎮火及び他への延焼を防止するために新設消火栓（10基）を設置する。 都市事情、道路事情、その他市民の生活様態の変化から支障となる消火栓を移設する。 大規模地震における水道断水時においても消火活動が可能となるよう耐震性を有した貯水槽（2基）を設置する。 						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防水利の整備（消火栓）	基	計画	10	10	
			実績	7	8	
②	消防水利の整備（耐震性貯水槽）	基	計画		2	
			実績		2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	消防水利の充足率	%	目標	53.0	52.5	
			実績	52.1	52.3	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成28年度は、当初の積算価格よりも部材、作業賃金の高騰などから整備計画（10基）を下回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民を火災から守るといふ消防の責任を果たす必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	消防水利の充足率が100%に至っていない。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	消防水利は設置基準に基づき計画的に順次整備する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	消防水利が充足されている地域と、そうではない地域の格差を解消する必要がある。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
消防水利の充足率向上及び地域格差の解消を図るため、「消防水利の設置基準」に基づきバランスよく計画的に消火栓と耐震性貯水槽の整備を推進する。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	09	01	04	194190	消防水利維持管理整備事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年度比： (B-A)
事業費		19,498	42,266		22,768
財源内訳	国・県		5,386		5,386
	地方債	10,400	19,400		9,000
	その他		1,911		1,911
	一般財源	9,098	15,569		6,471

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
防災危機管理体制の充実。

事業開始の背景・経緯
市は火災を予防し消火する義務があり、そのためにも消防水利を設置、維持管理する必要がある。

事業概要
○消火栓維持管理
・火災等の災害時、支障なく活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施し、非常時に対応できるよう維持する。
○消火栓・防火水槽水利施設整備
・火災時の被災建物等の早期鎮圧、鎮火及び他への延焼を防止するために新設消火栓(10基)を設置する。
・都市事情、道路事情、その他市民の生活様態の変化から支障となる消火栓を移設する。
・大規模地震における水道断水時においても消火活動が可能となるよう耐震性を有した貯水槽(2基)を設置する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
市内全域の消防水利を地域格差なく均一に配置できればよいが、水道配管施設状況や道路形状等の理由により無水利地域ができる。

担当部署 部名 消防本部 課名 警防課 担当係長 小原 敏裕 内線 377

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○消火栓維持管理 11,922千円(前年度比：2,438千円増)

◇ 消火栓保守及び維持管理 4,015千円(前年度比：1,942千円減)

花巻地域	大迫地域	石鳥谷地域	東和地域	合計
1,263基	88基	418基	241基	2,010基

◇ 消火栓等の修繕 7,907千円(前年度比：496千円増)

- (内訳) ・防火水槽、防火ため池等の清掃業務 223千円
- ・消防水利、消火栓標識の購入 567千円
- ・防火水槽の修繕 955千円
- ・軽微な修繕に係る補修資材の購入 92千円
- ・既存消火栓一般修理負担金 25基 6,070千円

○消火栓・防火水槽水利施設整備 30,344千円(前年度比：20,330千円増)

(充当財源：消防防災施設整備費補助金5,386千円、合併特例債19,400千円)

◇ 消火栓の新規設置 8基 10,068千円(前年度比：1,621千円増)
花巻地域3基、大迫地域1基、石鳥谷地域2基、東和地域2基

◇ 管換工事に伴う消火栓設置 石鳥谷地域 2基 2,391千円(前年度比：824千円増)

◇ 耐震性貯水槽の新規設置 2基(西宮野目1基、大迫1基) 15,973千円(前年度比：皆増)
(内訳) ・耐震性貯水槽設置工事 15,012千円
・設置工事積算資料作成業務委託 961千円

◇ 県道工事支障物件撤去補償費 1,912千円(前年度比：皆増)